

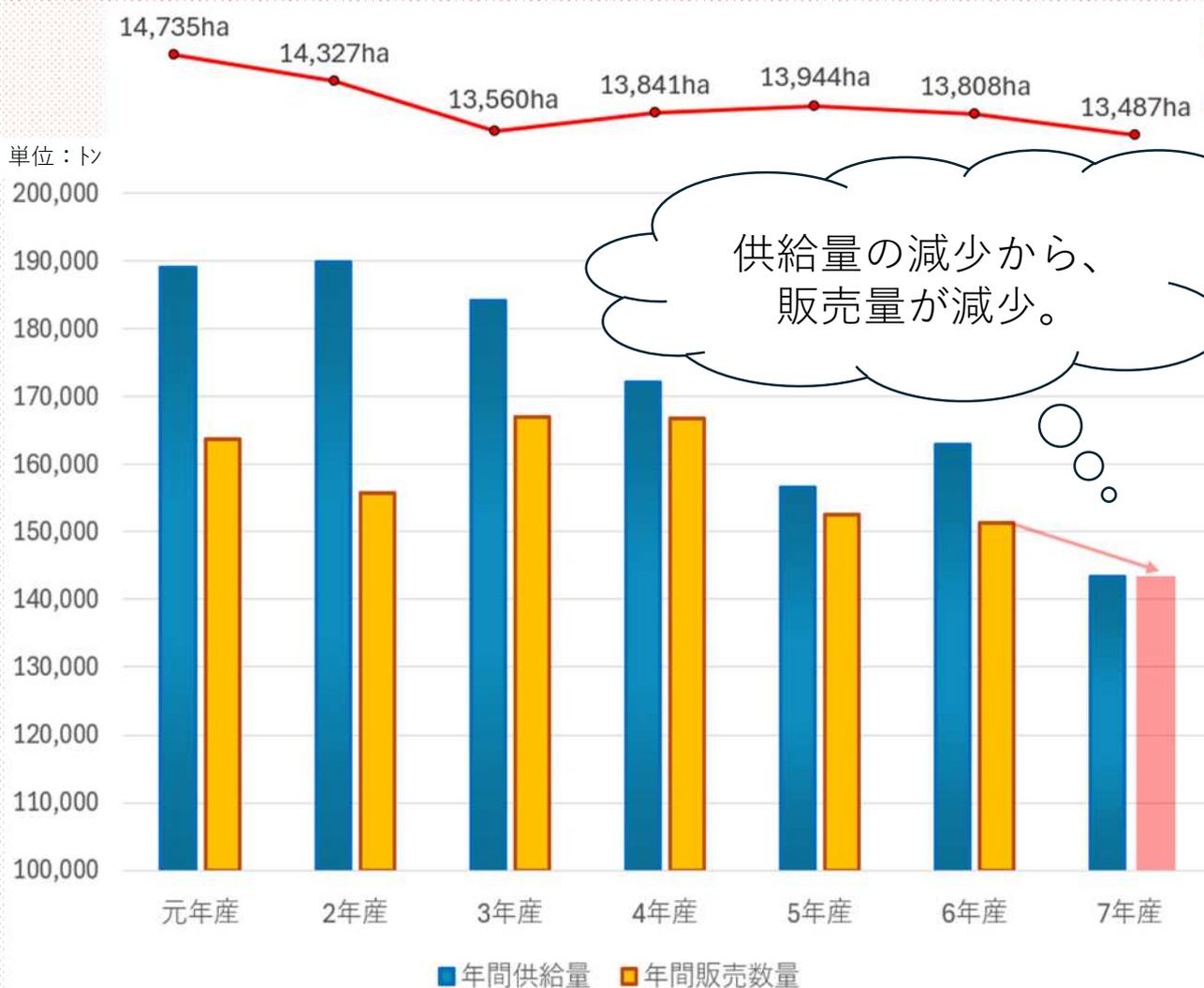
# 北海道産馬鈴しょでん粉が 足りません！！



北海道産馬鈴しょでん粉はジャガイモシストセンチュウの影響や労働負荷が高い等の要因により、面積・生産量は減少し、消費地から求められている需要に対して**十分な供給ができず販売量を減少せざるを得ない**状況となっております。

## 北海道産馬鈴しょでん粉需給推移(作付面積・供給量・販売量)

目標面積15,800ha



# 令和7年度補正予算 畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業のうち ばれいしょ・てん菜生産基盤強化事業

【でん粉原料用ばれいしょが対象となる支援メニューがあります！！】

※以下、馬鈴しょに関する内容を抜粋しております。

## 1. 事業内容

### (1) 生産構造転換重点支援

ばれいしょの生産構造転換の取組に対して、取組面積に応じて支援。

◎ 事業実施主体

市町村、農業協同組合、協議会等

◎ 対象作物

でん粉原料用ばれいしょ

◎ 取組内容（新規での導入が対象）

① ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種等の導入

- ・ Gr抵抗性のみ 3,000円/10a
- ・ Gr抵抗性 + Gp抵抗性 又は 複合病害抵抗性 5,000円/10a
- **コナヒメ、コナユタカなどが対象**
- ・ Gr抵抗性からGp抵抗性へ転換する面積 3,000円/10a

② 疎植栽培の導入 3,000円/10a

③ ジャガイモシストセンチュウ類対抗植物の導入 5,000円/10a

※前年から新たに増反する面積は新規の取組（疎植、Gr抵抗性等）の対象となるため、最大8,000円/10a

### (2) 生産構造転換重点推進支援（既存で導入している方が対象）

でん粉原料用ばれいしょの生産性向上に向けて、**技術講習会や技術指導等の栽培技術の向上に産地で取り組む**場合、取組面積に応じて支援。

① Gr抵抗性品種等の栽培技術の向上に向けた取組 2,000円/10a

② 疎植栽培技術の向上に向けた取組 1,500円/10a

※（1）、（2）で重点推進支援の取組面積の重複申請は不可。

## 2. 取り組み例

【例1】コナヒメを新規で導入し、また疎植栽培も新規で実施する場合

(1) - ①	Gr抵抗性 + Gp抵抗性 + 複合病害抵抗性の新規導入	5,000円/10a
(1) - ②	疎植栽培の新規導入	3,000円/10a
	計	8,000円/10a

【例2】Gr抵抗性品種は導入済だが、疎植栽培を新規で実施する場合

(1) - ②	疎植栽培の新規導入	3,000円/10a
(2) - ①	Gr抵抗性の栽培技術向上	2,000円/10a
	計	5,000円/10a

【例3】既にGr抵抗性品種を導入、疎植栽培も実施している場合

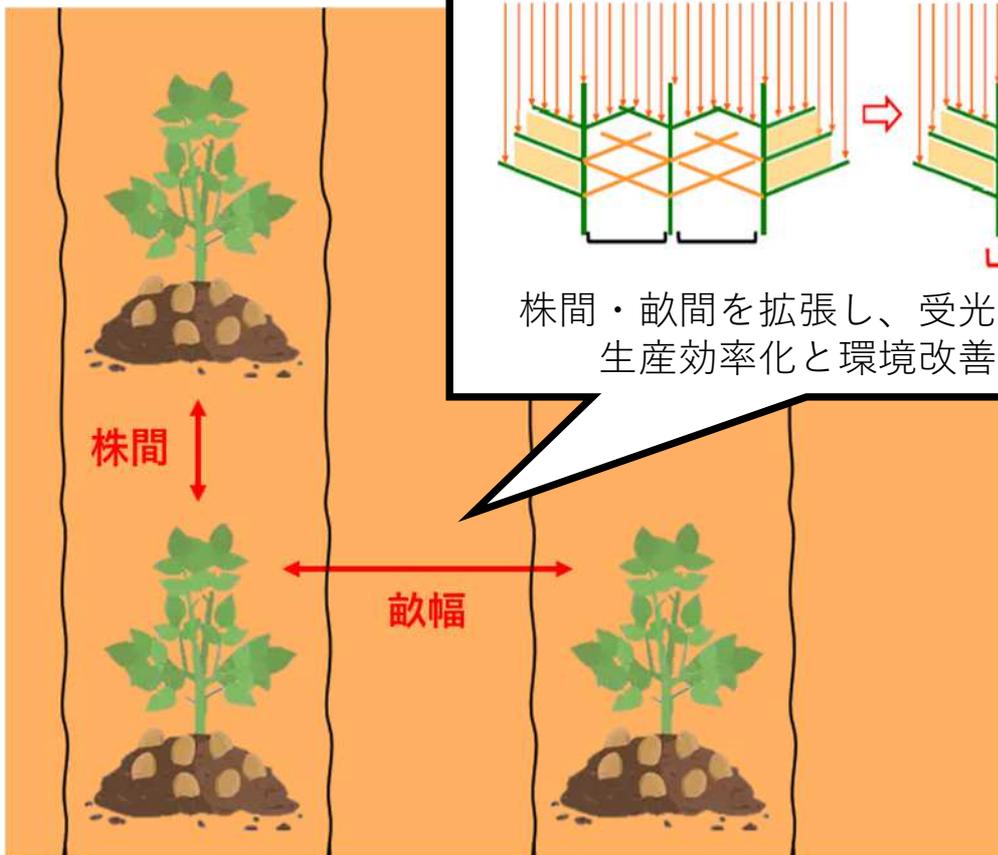
(2) - ①	Gr抵抗性の栽培技術向上	2,000円/10a
(2) - ②	疎植栽培の栽培技術向上	1,500円/10a
	計	3,500円/10a

### ※取組に対する補足

- ・コナヒメの作付について、前年10ha作付していたが本年15haに増やした場合、10haは既存となり(2) - ①栽培技術向上2,000円/10aが対象、また5haは新規扱いとなるため、(1) - ①抵抗品種の導入5,000円/10aが対象となります。
- ・(2) 生産構造転換重点推進支援に取り組む場合(上記例2, 3)は、講習会や指導を受けただけでは支援対象になりません。講習会や指導を受けて、実際に栽培技術の向上に取り組んだ場合に支援される内容となっております。



### 3. 疎植栽培のイメージ



株間・畝間を拡張し、受光面積を拡大し  
生産効率化と環境改善を図る！

#### 【期待される効果】

- ・ 種苗費の減少
- ・ 一個重の増加
- ・ 病害誘発リスクの低下（＝防除軽減）

疎植栽培に関する説明している動画となりますので、  
ぜひ参考としてご覧ください。

北海道農産基金協会HP

令和8年1月22日（木）  
網走市オホーツク・文化交流センター  
第32回馬鈴しょ及びでん粉講習会  
「コナヒメ」の安定生産に向けて  
ホクレン農業総合研究所 田中 宏樹

